ZEPHYROS

ゼフュロス No.53

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

平成24年11月20日発行

ISSN1342-8071

手の痕跡

国立西洋美術館所蔵作品を中心とした ロダンとブールデルの彫刻と素描

Traces of Hands

Sculpture and Drawings by Rodin and Bourdelle
from the National Museum of Western Art,Tokyo

会期：2012年11月3日（土・祝）～ 2013年1月27日（日）　企画展示室

手の痕跡

国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとブールデルの彫刻と素描

エミール=アントワーヌ・ブールデル
《弓をひくヘラクレス》［習作］

オーギュスト・ロダン《泣く女》

国立西洋美術館では、現在ロダンとブールデルの彫刻69点を所蔵しています。これらは当館の彫刻コレクションの中核を占めるだけでなく、国内所蔵のロダンとブールデルの作品としても質、数の面から貴重なものです。ところが当館ではこれまで常設展示でその一部をご紹介してきただけで、これらを一堂に展示する機会がありませんでした。今回は『手の痕跡』と題し、こうした当館所蔵のロダンとブールデルの彫刻に加え、素描・版画22点、東京国立博物館所蔵のロダン彫刻1点を展示します。なかには国立西洋美術館では40年ぶりの展示となる作品もあります。

社会や文化の近代化のなかで、独自の表現を獲得し大彫刻家としての道を切り開いたロダン。ブールデルはロダンより21歳若く、一時は下彫り職人としてその彫刻に最も近く接したひとりです。ふたりはともにアカデミックな彫刻教育から距離を置き、新しい立体表現を提示し続けた彫刻家として位置づけられます。新古典主義の彫刻が滑らかに磨き上げられた仕上げに特徴があるのにたいし、ロダンやブールデルの彫刻の表面は、あえて素材の粗いテクスチャー、指や型、道具の跡を残し、生々しさを露にしています。それは作者の手の跡であり、観る者が彫刻家の存在を間近に感じる重要な要素です。本展では、彫刻作品に残る作者の痕跡に注目しながら、時には師と弟子、また別の場面ではライバルとして対峙したふたりの彫刻家の足跡を辿りま

オーギュスト・ロダン《私は美しい》

エミール=アントワーヌ・ブールデル
《首のあるアポロンの頭部》

す。また、これらの作品が国立西洋美術館に所蔵された歴史もあわせ、ご紹介します。前庭にあるロダンとブールデルの彫刻は国立西洋美術館の顔としてすでにおなじみの作品ですが、これらも本展の内容に照らし合わせながら、あらためてお楽しみいただけることでしょう。

本展にあわせ、当館の教育部門の企画であるFun with Collection（会期中同時開催）を開催します。Fun with Collectionでは「彫刻の魅力を探る」と題し、ブロンズや大理石など彫刻の技法に光をあて、その魅力に迫るさまざまなプログラムを用意しています。「どうして《考える人》はいくつもあるの?」「大きさが違う《考える人》があるのはなぜ?」「ブロンズ彫刻って、何でできているの?」そんな疑問にわかりやすくお答えします。詳細はホームページなどでご確認ください。

（国立西洋美術館主任研究員 大屋 美那）

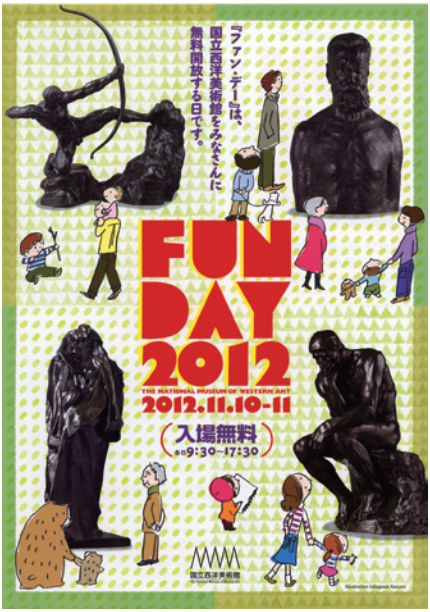
表紙
オーギュスト・ロダン《考える人》

表紙、1頁、2頁
photo by 上野則宏

手の痕跡　国立西洋美術館所蔵作品を中心とした
ロダンとブールデルの彫刻と素描
一　般　800円（600円）
大学生　400円（200円）
小・中学生・高校生及び18歳未満、
心身に障害のある方及び付添者1名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、
障害者手帳をご提示ください。）
＊（　）内は20名以上の団体料金
＊本展の観覧券で常設展示も併せてご覧いただけます。

『手の痕跡』展と同時開催！

「Fun with Collection 2012 彫刻の魅力を探る」「セイビまるごとお楽しみ！　FUN DAY 2012」



Fun with Collectionは、当館の所蔵作品をさまざまな視点から楽しんでいただく企画です。今年は『手の痕跡』展に関連して、『Fun with Collection 彫刻の魅力を探る』と題し、展覧会会期中、企画展示館地下3階で彫刻の技法を取り上げた小展示を行っています。

この小展示では、粘土で制作した女性の頭部を石膏、テラコッタ、大理石、ブロンズに置き換えていくプロセスや、それぞれの技法で使用される道具などを展示し、それらを比べながら、素材や技法の特徴をご覧いただけます。彫刻作品をより身近に感じていただくために、レクチャー、溶かした金属を使ったメダル作りをこれまでに行ったほか、11月25日（日）には、石膏による自分の手の型取りのプログラムを行います。

今年のFun Day 2012（11月10日（土）、11日（日））も、『手の痕跡』展と関連したプログラムを取り入れて開催しました。『手の痕跡』展の彫刻作品を含むコレクション作品のギャラリー・トーク、びじゅつーる貸出、昨年もご好評をいただいた入場券から作るコレクション・缶バッジ、建築ツアー、前庭コンサート、そして『Fun with Collection 彫刻の魅力を探る』会場での彫刻技法の解説と簡単なデモンストレーション（大理石、ブロンズ、粘土）を行ったほか、通常は小中学生のみに配布している展覧会解説パンフレットを、希望者全員にお配りしました。来年も多くの方に楽しんでいただける内容をご用意したいと思います。

（国立西洋美術館主任研究員 横山 佐紀）

会期：2012年11月3日（土・祝）～ 2013年1月27日（日）新館2階　版画素描展示室

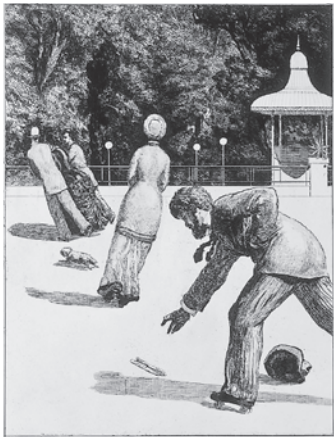
マックス・クリンガーの連作版画――尖筆による夢のシークエンス

マックス・クリンガー《アポロンとダフネ II》
（連作〈オヴィディウス『変身譚』の犠牲者の救済〉より）
1879年頃、エッチング、アクアティント

マックス・クリンガー（1857-1920）は、19世紀末から20世紀初頭の世紀転換期を代表するドイツの画家です。ウィーン分離派やベルリン分離派に参加したことでも知られる彼は、作曲家リヒャルト・ヴァーグナー以来の「総合芸術作品」の観念を継承し、絵画や彫刻、建築や音楽など、ジャンルの違いを超えた諸芸術の統合を目指した人物でした。

しかしながら、そんなクリンガーはまた一方で、版画を中心とするグラフィック芸術に強い関心を示しました。彼は生涯を通じておよそ450点もの版画を手掛け、その多くを連作として発表しています。また、1891年には『絵画と線描』（*Malerei und Zeichnung*）と題した著作を刊行し、版画や素描といったグラフィック芸術全般を「尖筆芸術」（Griffelkunst）という独自の造語によって総称しながら、その表現の可能性について論じたのです。

この著作の中でクリンガーは、版画をはじめとする「尖筆芸術」は、絵画や彫刻に比べて現実世界の束縛から自由な空想の力を発揮しやすいと述べています。さらに、とりわけ連作形式で提示される版画のシークエンスには、見る者を強烈に引き込む詩的な力が備わっているとも語っています。事実、クリンガーの連作版画は、現実と虚構、意識と無意識の境界が曖昧となった幻想的な世界を描き出し、私たち鑑賞者を唐突な連想や物語の飛躍に巻き込みながら、夢のつづれのようにして展開していきます。



マックス・クリンガー《行為》
（連作〈手袋〉より）
1881年、エッチング

この小企画展では、当館に所蔵されるクリンガーの連作版画の中から〈オヴィディウス『変身譚』の犠牲者の救済〉〈手袋〉〈死についてII〉の三つをとり上げながら、その「尖筆芸術」の一端に迫ります。どうぞ線描が織りなす「夢のシークエンス」をお楽しみください。

（国立西洋美術館研究員　新藤 淳）

常設展
一　般　420円（210円）
大学生　130円　（70円）
小・中学生・高校生及び18歳未満、65歳以上、心身に障害のある方及び付添者1名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください。）
＊（　）内は20名以上の団体料金

EVENTイベント

手の痕跡 国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとブールデルの彫刻と素描

会期：2012年11月3日（土・祝日）～2013年1月27日（日）

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

● ギャラリー・トーク

展覧会の見どころやおもな作品について、担当研究員が作品を前にして解説します。

日　時：**12月14日（金）、1月11日（金）各回18:00から約30分**
集合場所：企画展会場入口（18:00）
解　説：大屋美那（当館主任研究員）
＊参加無料。ただし、展覧会観覧券が必要です。直接集合場所にお越しください。

美術館でクリスマス

クリスマスにちなみ、次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

● 10分トーク・クリスマスバージョン

日　時：**12月11日（火）～12月16日（日）**
各日　①14:00～　②14:20～　③14:40～（約10分）
＊参加無料。ただし常設展観覧券が必要です。

● クリスマスキャロル・コンサート

クリスマスにちなんだ歌のアカペラのコンサートです。予約不要。入場無料です。
自由にお立ち寄りください。

日　時：**12月15日（土）、12月16日（日）**
各日　① 11:00～11:40　② 15:00～15:40　※曲目は２回とも同じです。
場　所：本館1階ロビー　　演　奏：東京藝術大学声楽家有志

● クリスマス缶バッジを手に入れよう

国立西洋美術館の作品をモチーフにしたクリスマス缶バッジがもらえます。予約不要。
自由にお立ち寄りください。

＊参加費無料（ただし大人は常設展観覧券が必要です）　場　所：常設展（新館２階休憩室）
日　時：**12月15日（土）、12月16日（日）**　**各日　10:00～17:00**

● セイビ・パズル　クリスマスバージョン

国立西洋美術館の作品がパズルになりました。初級編から上級編までトライしてみませんか。予約不要。自由にお立ち寄りください。

＊参加費無料（ただし大人は常設展観覧券が必要です）　場　所：常設展（新館２階休憩室）
日　時：**12月15日（土）、12月16日（日）**　**各日　10:00～17:00**

※イベント、ギャラリー・トーク等の内容は急きょ変更となる場合があります。
　最新情報は国立西洋美術館チラシまたはホームページでご確認ください。

Museum shop ミュージアムショップ

新商品

●ポップアップカード

525円（封筒付き・税込み）

印象に残る美術館の本館部分をカードにし、開くと「考える人」が起き上がります。
中にメッセージを書いて送ることもできます。

●カレンダー

1,260円（税込み）

最新のデジタル技術によって色調校正を行い、展示室での作品鑑賞時に出来るだけ近い色を再現しました。

Café カフェすいれん

スープ、サラダ、パンまたはライス付き。
付け合わせは季節によって異なります。

「手の痕跡」展　特別メニュー

期間　2012年11月3日～2013年1月27日

●リヨン風ポークシチュー

1,600円（税込み）

豚肉を大きな塊でじっくり煮込んでからスライスし、玉ねぎをたっぷり使ったコクのあるリヨン風ソースで仕上げました。フランスワインとご一緒にどうぞ。

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェすいれん）で Suica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます。）詳細については、当館 HP をご覧ください。

展示カレンダー［企画展示/常設展示］2012年11月～2013年4月

休館日　土日・祝日

NOV 11

全館休館 10月29日(月)～11月2日(金)

手の痕跡　国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとブールデルの彫刻と素描（企画展示室）11月3日（土・祝）～2013年1月27日（日）

Fun with Collection 2012“彫刻の魅力を探る”（企画展示室B3F）手の痕跡展と同時開催

マックス・クリンガーの連作版画　尖筆による夢のシークエンス（新館2階版画素描展示室）11月3日（土・祝）～2013年1月27日（日）

DEC 12

手の痕跡　国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとブールデルの彫刻と素描（企画展示室）11月3日（土・祝）～2013年1月27日（日）

Fun with Collection 2012“彫刻の魅力を探る”（企画展示室B3F）手の痕跡展と同時開催

マックス・クリンガーの連作版画　尖筆による夢のシークエンス（新館2階版画素描展示室）11月3日（土・祝）～2013年1月27日（日）

年末年始休館 12月28日（金）～1月1日（火）

JAN 1

手の痕跡　国立西洋美術館所蔵作品を中心としたロダンとブールデルの彫刻と素描（企画展示室）11月3日（土・祝）～2013年1月27日（日）

Fun with Collection 2012“彫刻の魅力を探る”（企画展示室B3F）手の痕跡展と同時開催

マックス・クリンガーの連作版画　尖筆による夢のシークエンス（新館2階版画素描展示室）11月3日（土・祝）～2013年1月27日（日）

FEB 2

全館休館（館内整備のため）2月4日（月）～2月11日（月）

MAR 3

ラファエロ（企画展示室）2013年3月2日（土）～6月2日（日）

APR 4

ラファエロ（企画展示室）2013年3月2日（土）～6月2日（日）

●年末年始休館と臨時休館のお知らせ

2012年12月28日（金）～2013年1月1日（火）年末年始休館となります。
2013年2月4日（月）～2月11日（月）館内整備のため、全館休館します。
2013年3月1日（金）は展覧会準備のため休館します。

●常設展示

中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。
（展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。）

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。
※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007　東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
  (2013年1月29日(火)～2月28日(木)：午前9時30分～午後5時)
  毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
  ＊入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日（ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)、12月28日(金)～2013年1月1日(火)、2月4日(月)～2月11日(月)、3月1日(金)
  ＊その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日（11月3日）
- お問い合わせ・・・ハローダイヤル：03−5777−8600
  http://www.nmwa.go.jp/

※誌名について…「ZEPHYROS」（ゼフュロス）はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさと色さまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS 第53号
編集・発行　国立西洋美術館/平成24年11月20日（年4回発行）
協　　力　公益財団法人　西洋美術振興財団
印　　刷　（株）アイネット

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art